



プレスリリース

Nr. 04/06/2011

報道関係各位

東京 2011年6月9日  
在日ドイツ連邦共和国大使館

## リティが宮城に帰って来る！



「リティ」の愛称で知られるドイツ出身の元サッカー選手、ピエール・リトバルスキー（Pierre LITBARSKI）氏が、仙台と気仙沼の小学校で、被災地の少年サッカーチーム（各場所4～6チーム）への出張サッカー教室を行います！

	日時	場所	住所
1	6月18日（土）14時※	仙台市立中野栄小学校	仙台市宮城野区栄3-2-1 Tel. 022-258-8080
2	6月19日（日）10時※	気仙沼市立気仙沼小学校	気仙沼市笹が陣3-1 Tel. 0226-22-6966

※いずれも、2時間半程度を予定しています。

ドイツでは、3月11日の東日本大震災において被災された方々への連帯感が広がっており、ドイツ国内では、政府機関、企業、そして多数の個人から、被災地支援のため4500万ユーロ（約52億円）を上回る額が寄せられています（2011年5月現在）。

こうした動きと並び、ドイツ大使館では、被災地の方々、特にこれからの時代を担う若い世代の方々を応援・勇気づける一助になればという思いから、この度、リトバルスキー氏による出張サッカー教室を企画いたしました。

「リティ」こと、リトバルスキー氏は1960年ドイツ・ベルリンで生まれ、両足を器用に使ったドリブルを得意とし、ドイツのブンデスリーガ「F.C. ケルン」で15年近く活躍後、Jリーグの黎明期に、現ベガルタの前身「ブランメル仙台」で1996年から2年間、サッカー選手として、優れたドリブルを展開させるプレーを行いました。

引退後は指導者に転身し、横浜FC初代監督に就任して、チームをJリーグ昇格へと導き、その後は海外で監督として活躍。2010年6月から、長谷部選手がいるVfLヴォルフスブルクのアシスタントコーチに、さらに2011年2月には代理監督に就任しました。

サッカー番組で彼の流暢な日本語のトークや解説を聞いたことがある方も多いはず。再び宮城の地に戻ってきたリティと一緒に、サッカーを楽しみましょう！

【本件に関する問い合わせ】

ドイツ連邦共和国大使館

奥村年子

Tel. 03-5791-7718 / 080-2465-4065（6月18・19日 現地随行）